

わたしの好きな よこい

No. 179



今月号で皆さんにご紹介するのは、埼玉県環境整備センター内三ヶ山緑地公園の斜面に咲くつつじの花です。

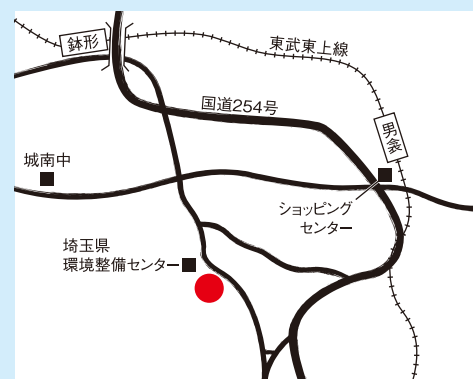
つつじは日本では古くから園芸品種として交配され、美しい品種がたくさん生まれました。日本にはつつじ科の樹が22属108種分布するそうです。赤・白花が連なって咲くことから「つつき」、また花が筒状であることから「つつ」などと呼ばれ、それが、次第に「つつじ」になったといわれています。

ところで、つつじに似た花としてさつきがありますが、見分け方をご存じでしょうか。一般的には新葉より花が先に咲くのが「つつじ」、葉が

<三ヶ山緑地公園のつつじ>

出してから花が咲くのが「さつき」と言われています。「さつき」はつつじの一種で、「さつきつつじ」を省略した名前です。開花時期も若干異なり、通常「つつじ」は4月中旬～5月上旬、「さつき」は5月中旬～6月中旬にかけて咲きます。

気候も暖かくなりましたので、足を延ばしてみてもはいかがでしょうか。



JR八高線「用土駅・駅舎」デザインが決定しました!

町では、昨年12月に本誌および町公式ホームページ等で用土駅舎のデザインを募集しました。近隣住民の憩える場としての活用も期待する駅舎のデザイン募集には、86作品の応募がありました。

2月に「用土駅舎デザイン選考検討会議」を開催し、慎重な審査・選考を行った結果、さいたま市在住の東内勝

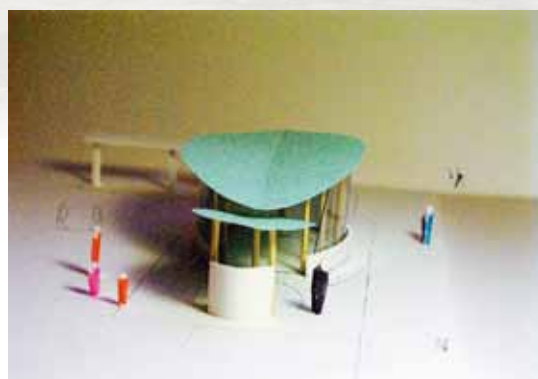
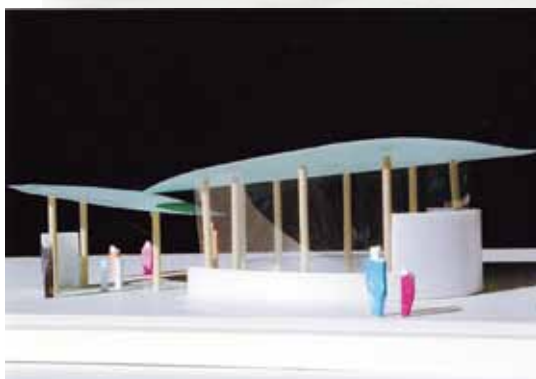
美さんの作品が、駅舎デザインに決定しました。

たくさんのご応募ありがとうございました。

作品趣旨 (東内さん提案書から抜粋) / 学生・子供・主婦・老人を含め、皆に愛され続ける駅舎。デザインは、柔らかいカタクリの葉で建物を包むデザ

インとした。駅舎待合室には、楕円状のベンチを壁際に造り付け、休憩・おしゃべり・待ち合わせ・ミニコンサートの場などを提供する。

今後のスケジュール/町では、東内さんのデザインを基に安全面や機能面について、地元やJRなどと協議を重ね、駅舎の設計を行っていきます。



駅舎外観イメージ